

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 木曽岬町	対談項目1 輪中地域における防災対策について	(1) 海拔ゼロメートル地帯の排水対策について	輪中地帯である当町においては、排水機は心臓部にあたる。現在の排水能力ではゲリラ豪雨に対応できないため、排水能力の強化は必須。県土保全の観点からも、排水機能強化に対する補助制度の見直しや県の指導的支援をお願いしたい。	農林水産省農業土木のメニューは防災の観点では柔軟に活用できない事は認識している。まずは、湛水防除事業の制度変更ができないか、木曽岬町と連携し、また、類似案件を抱える他自治体と連携して国へ働きかけたい。その結果を踏まえ、県として何が出来るのかを考えたい。
2 木曽岬町	対談項目1 輪中地域における防災対策について	(2) 鍋田川右岸堤防の高潮対策・耐震化対策について	近隣自治体の海岸堤防は整備が進んでいる一方、当町河口部の鍋田川右岸堤防(県河川管理扱い)には整備計画もない。地域住民の安全確保の観点から、早期に高潮・耐震化対策をお願いしたい。	鍋田川右岸堤防の高潮対策については、対策済みと考えている。また、耐震化について、県単独での対応は費用面で困難であることから、国に対し、木曽川左岸堤の耐震化と一体的な工事を要望している。なお、県では、今年度、状況把握のため地形測量を実施している。
3 木曽岬町	対談項目1 輪中地域における防災対策について	(2)関連 木曽岬干拓地内の木曽川左岸堤防の高潮対策・耐震化対策について	木曽岬干拓地内の木曽川左岸堤についても整備計画がない。木曽岬干拓地の土地利用を推進の観点から、早期に高潮・耐震化対策をお願いしたい。	人員・財源も限られている中、居住地区の優先順位が高くなると考えるが、木曽岬町とも十分協議していきたい。

対談 市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 木曾岬町	その他(1) 地域特性への財政的 配慮について		復興住宅に活かされた先人の知恵を現代に生かすべく、木曾岬庁舎複合施設の建設に取り組んでいる。しかしながら、例えば安定地盤深度に見られるような地域的なハンディもあり、建設コストが増大している。このような地域特有の課題に対し支援をいただける制度設計を早急に行っていただくよう、県も国に対し強く要望して欲しい。	先人の教訓についてはしっかりと学びたい。海拔ゼロメートル地帯への支援については、協議会で検討を重ねている。11月中旬の国の政策提言の際に、防災担当大臣に要望させていただく。また、地域減災力補助金について、地域のニーズにあった補助体系に出来るよう、見直しを図っていきたい。
5 木曾岬町	その他(2) 平成27年度県予算に ついて		来年度の県予算は、いわゆる骨格予算になると思うが、防災対策は待ったなしである。事業執行に支障のない様、(補正予算ではなく)年度当初から執行できる予算作成をお願いしたい。	県政が停滞しない様、県民が不安に感じない様に配慮した骨格的予算を組んでいきたい。